静岡 ユースサッカー
THE YOUTH SOCCER
1月1日土曜日
昭和52年（1977年）
発行所
静岡県清水市サッカー協会
発行人　協会理事長堀田哲爾
編集人　サッカーニュース社
二本木一夫
清水市辻町5丁目1の31
電話（0543）67−1970清水ゴール
編集専用電話66−5282（代）
毎月1回1日発行　1部20円

PEPSI

第九回静岡県サッカー少年団大会

清水代表決まる！

清水小・辻・不二見・東海の四校

十月末から第四次予選まで四つのリーグ戦12試合の結果清水小、辻小、不二見小、東海小の四チームが五十二年一月三十日より行われる県大会に出場が決まった。

二次リーグでは辻、清水、有一、有二の四チームが各ブロックの一位をとり、三次リーグに入りAリーグは有一、清水、不二見、入江、Bリーグは辻、有二、東海、三保一の八チーム。

Aリーグは清水二勝一分、有一、不二見が一勝一敗一分、入江が二敗一分、不二見が点差で出場権を得た。

Bリーグは辻が二勝一敗、東海二勝一敗、有二も同様二勝一敗で同率、点差で辻と東海が出場権を得た。

点としては有一、有二があったが、それぞれ三保一、入江と苦戦したため出場がならなかった。

今から一ヵ月、藤枝で行われる本大会ではノックアウト方式のトーナメントであり一戦一戦バランスのとれた試合を行わないと優勝はむずかしいが辻、清水は優勝できる力を持っておりがんばってほしい。

東海も相手に合わせてゲームをやる点でや、不安定であるが大分力をつけてきた。

不二見もバックが安定してきたこととゴールキーパーが守備範囲が広くなって心強い。

昨年度優勝の有二の不出場は残念であるがそれほど清水で勝つことが大変であるということである。四チームともに有二にかわってがんばってほしいものである。

試合結果は次の通り。

◇清水第四次予選結果

清　水2―0東　海
辻　2―0不二見
辻　2―1東　海
不二見1―0清　水
東　海2―1不二見
清　水1―0辻

この結果、清水、辻、東海、不二見が県大会に出場。

▲写真上は清水小サッカー少年団
▼写真下は辻小イレブン

少年サッカー指導教程 ⑦

日本サッカー協会公認コーチ　堀田哲爾

ドリブルからのパス練習

◎ゴールをきめた2対1

二人はドリブルもパスも可。しかもめざすゴールを一つきめ、一人の方はドリブルのみでゴールは二つ用意してゲームをはじめる。攻撃の方向が決まっているのでドリブルとパスのタイミングと同時に、ドリブルに対するディフェンスも指導できる。

◎一人ボール一個でパスの練習

30センチくらいのエリアの中で、一人ボール一個もちドリブル。目が合った人、声をかけた人とボールをチェンジする。単にまっすぐパスすればボールはあたってしまう。お互いにボールをもらう方向に動き、ボールを出す仕事と一緒にする。

◎ゴール前でタイミングをつかむパス練習

ゴール前に一人ストライカーにたたせてもらう。一人はそれをゾーンと共にマークしている。中盤からドリブルした者がストライカーにパスし、はずしてシュート。この時大切なことは、まず第一に突破するボールを出す。これが出せない時はリターンパスができるパスを送る。第三にキープできるボールをパスする。常にボールを出す人間がこの三つを区別して出すくらいの気持とボールの質を考えさせる。

◎ボールをまわった後目標に向かってける

二人むかい合ってドリブルパスをしても実践のゲームではそんな場はない。ボールが変化した時または意図的に相手をよけるドリブルから正確なパスを出すことを要求されるので、ボールを自分の前に置き、そこを廻ってすぐ相手のボールへ向かってパスをうける方も同じことをやり、その能力を高める練習方法も必要である。

◎うき玉のパス

ドリブルして、相手をボールをうかしてよける必要がある。そのためボールをいつでもうかせることができる必要がある。ハードルを10メートルおきくらいに置いて、それに向かってドリブルボールをうかし、自分もとびあがったり、自分はまわりをまわってまたボールに近ずく等の練習は効果的である。

◎大きなグランドでの3対3のワンタッチプレー

時間は短かく大きなグランドで3対3のワンタッチプレーはボールの強さ、大きさ、角度も相手側の3点をむすばせない方向を選ぶ力と、ボールに近ずく時すでに方向を決めなければならない。早い判断力をつけると共に体力、持久力の養成にもなる練習である。

◎一人パスの練習

ドリブルして自分の走っている逆方向にパス、ふたたび自分がそのボールを取りドリブルに入る。いわば一人二役の練習方法である。個人の能力以上に意志の強さを要求され、むずかしいボールを出す人ほどゲーム中に役立つことが証明される。

国士館大学一部リーグに昇格！

二部優勝を果たした国士館大学は十一月五日、西ヶ丘で一部最下位の慶応大と対戦、後半1点をもぎとり念願の一部入りを果たした。

同大には清商の加藤石橋をはじめ藤枝東の早川、東海の大谷や浜名からも進学しており静岡県出身者が農大の次に多い所だけに静岡県関係者もよろこんでいる。

高校生の夢もやはり一部のプレーをしたいと願っており今後の活躍が期待さのる。

関東大学サッカー入れ替え戦

国士大（二部）1（0―0／1―0）0慶大（一部）
日大（一部）2（1―1／1―0）1明大（二部）
（国士大は一部に昇格　慶大は二部に転落　日大は一部残留）

県コーチャーズアソシエイション

登録は一月中に！

全国に先がけてつくられた静岡県コーチャーズアソシエイションも会員二百名あっても今まで会員の連絡がうまくいかず、ここ二年間活動らしいものがなかった。

五十二年度から日本サッカー協会もコーチの登録と機関誌の発行を計画するに当たり、各県の組織づくりに力を入れることになった。

静岡県でも事務局を正式に発足、その担当者に東海小の望月氏があたることになった。

そこで五十二年一月中に登録をすませ、それまでに登録のない者は取り消しということになり、JFAおよびリーダー、少年指導員、トレーナー、ユースコーチ、全て登録してほしい。なお現在の有資格者は下の通りであるが一月中に連絡のない者は取り消しとなるので忘れずに登録を！

県コーチャーズアソシエイション

戸田　亮　山下正義　大塚陽久　鈴木俊彦　秋野宣治
坂本義久　松浦博実　杉山秀雄　山内鉎二　前田俊夫
神戸　勤　植田永二　村松　肇　鈴木　優　岸　茂樹
柴田二郎　松永弘道　深津敏夫　望月孝夫　高須三男
酒井義幸　渡辺　繁　望月英夫　富田文夫　高橋和裕
押見美知枝　竹下修次　塩沢喜一　青木伸明　小笠原　清
望月史郎　増田昌弘　矢沢秀敏　杉山　肇　塚本哲男
中村祐介　森　幸男　深沢孝俊　中島孝志　中井　洋
柿本勇一　小島鋼雄　鈴木石根　沢野史郎　小梢敏次
山中興一郎　杉山剛士　柳瀬晴海　設楽健市　福本利幸
桐生　勉　田村寛仁　南谷光一　杉崎三郎

県ユースコーチングスクール

望月一敏　梅原誠二郎　岩崎達夫　藤本幸雄　望月貞志
村上　保　徳竹礼二郎　榎戸晴保　乾　裕子　太田　諭
市川利隆　塚本哲男　石川克洋　佐塚博司　吉川　実
石田敏広　富田文夫　青島米男　谷上和応　堀　芳広
臼井郁夫　伊東正明　高橋節夫

少年団指導者

田浦信彦　山中寅雄　工藤静夫　杉山幸弘　杉山　進
薩川昌之　滝　公孝　青山秀司　平岡三生　春日博之
杉山勝四郎　藤川満次　千須和　進　杉山和喜　出水幹也
内田安治　佐藤代吉　酒井鉄也　吉田泰明　渕ノ上正明
松浦敦子　栗田五良　広岡幸子　望月久誌　福島彰夫
石川みずほ　川島　大獄　畠山　加藤彰久
横山　神谷健治
岩科好治　狩野　茂　石川武宣　浄見元紹　望月保次
鈴木達朗　井田勝道　納谷義朗　松下昌弘　高田　稔
池田辰男　岩崎輝美夫　黒石賢二　加藤真久　田中吉信
小杉辰男　鈴木　駿　石上瞬二　岩田正彦　黒田幸宏
風間豊茂　藤田秀計　近藤　饒　勝沢　要　島田博昭
柴田二郎　大石昇作　田中昌保　大津保夫　杉山二三雄
松田洋之助　酒井義幸　小沢治夫　森川雅之　富田文夫

青島和彦　雲切隆之　藤浪　猛　望月光雄　鈴木昌利
橋本忠広　村松幸雄　内山英雄　服部皓一　名木　誠
寺島　慧　塩沢英雄　山本直平　小池勝彦　飯塚喜好
浅羽康平　梅東　栄　山田　晁　杉村　誠　鈴木保雄
山本　茂　沢田嘉男　石川幸治　平井敏之　山内鉎二
山口正彦　細谷昌男　宮代朋一　田中金雄　大野　仁
田村寛仁　高山正宏　山中興一郎　桐生　勉　杉山剛士
小川次男　沼尻高明　佐藤省吾　岡村　茂　加藤剛重
高木　茂　入野隆男　黒川俊祐　薩川　肇　畑山具文
原木増雄　望月保男　佐藤　充　巻口　薫　長田恒省
滝本義三郎　鈴木　淳　渡村　悟　鈴木勝敏　越波　晃
菅　和男　津田正克　蒔田広康　豊島　満　仁藤真吾
山本一成　望月　守　沼田孝次　水野博雄　増井佳四郎
木野良博　近藤記功　坂本伸治　渡辺　勝　加藤敏彦
川島宏之　大野忠司　湊　弘　中井隆男　松本恒夫
長谷川信雄　大谷三成　岩切虔造　佐野友一　日良　豊
千多一彦　長沢　誠　真野邦彦　佐藤　豊　清水昌司
福室厚志　田中真邦　坂井徳尚　藤田　晃　大橋章治
河合良昌　高橋　勲　飯塚武司　市川雅司　村越厚己
増田正男　鈴木正和　半田一雄　福島一彦　増田英夫
曾根武弘　鈴木　登　三村芳雄　曾根悦郎　鈴木昭雄
安藤文一　加藤千幸　服部雅樹　望月謙一　上条正泰
桑名孝幸　稲葉良作　三浦　博　実名良治　望月政晴
長谷川都範　石井孝一　日高正文　宮沢　悟　落合正史
池谷実男　徳竹礼二郎　榎戸晴保　太田　諭　市川利隆
山内富蔵　中山一仁　佐藤博司　石田敏広　富田文夫
堀　芳広　伊東正明　臼井郁夫　高橋節夫　川口雅良
山崎元行　吉田正明　八木祥文　望月英夫　村上　保
石川古洋　谷上和応　永沼和則　村田全弘　大日向　明
黒部昌徳　二見和隆　吉田美喜男　小西徳三　中村　修
梅原　進　井川高一　松本修太　漆畑雅巳　竹内邦夫
川合秀明　沢野昌行　山岸良章　野田常人　佐藤文昭
秋山泰緒　岡村鉄夫

サッカー指導教程書できる

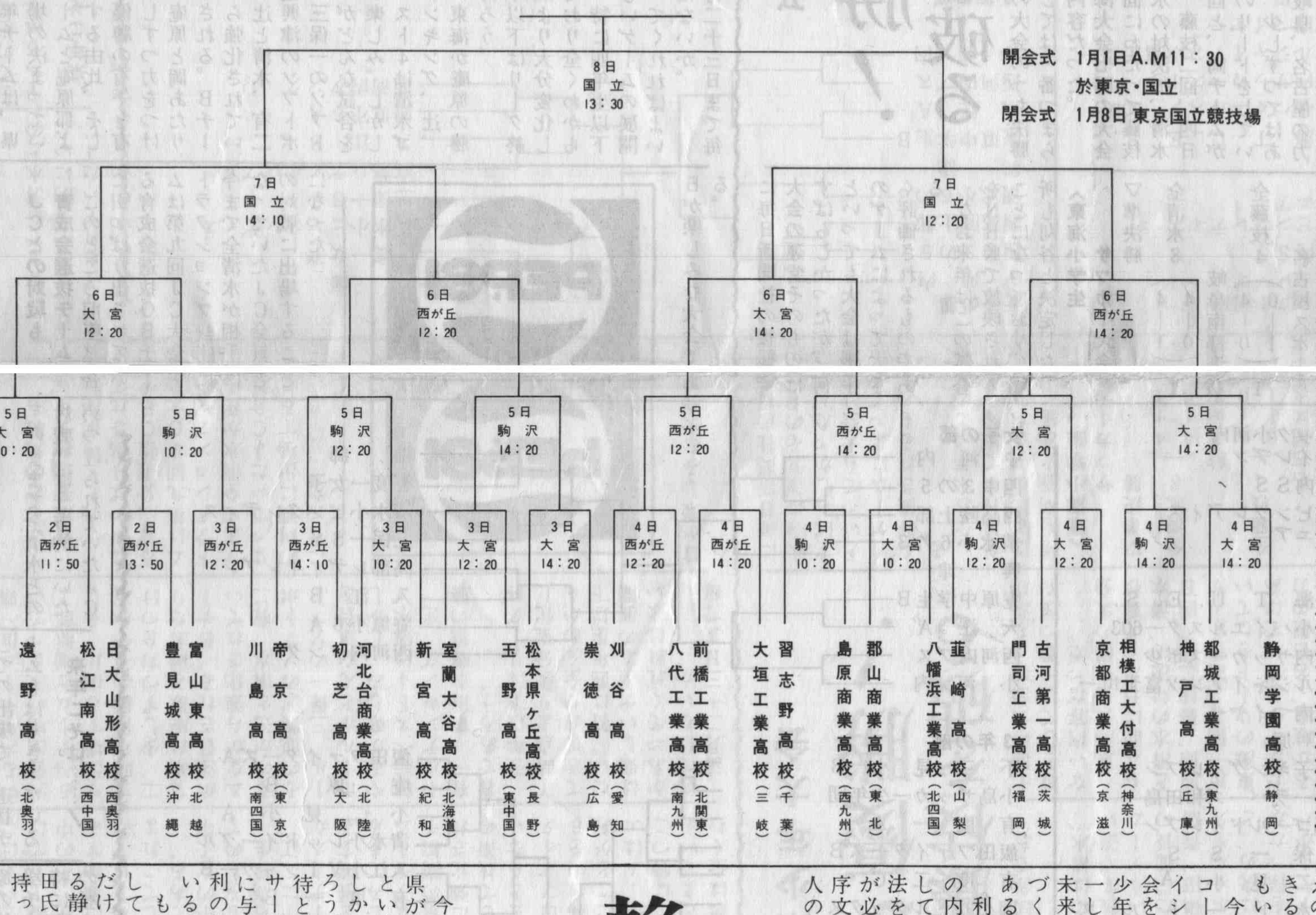
日本サッカー協会技術委員会指導部小中部会で二年がかりで作成していた指導原本ともいうべき指導教程試案ができあがった。

子どもの発育を身体的、精神的、社会的にとらえ、その上にたって基本的に指導の要点をまとめあげたもので日本サッカー指導者の一つの基本的な考えができあがったともいえる。今までも多くの少年指導書があるが、練習の方法、技術の方法はあっても基本的な考えの上にたって指導できるものがなかったともいえる。

今回この試案ができコーチャーズアソシエイションの会合や講習会を通して配布され、少年サッカー指導の統一した考えのもとに、未来に役立つ選手人間づくりとしたい考えである。

利用する指導者がこの内容をよく知り、そして自分なりの練習方法を生かしていくことが必要になってきた。序文にあるように『大人の責任において子どもの夢を満たし、よりすぐれた可能性を引き出してやる指導者の努力に期待する』本である。問い合わせは日本サッカー協会へ。

昭和51年度　全国高校サッカー選手権大会　昭和52年1月1日～8日



開会式　1月1日A.M11：30
於東京・国立
閉会式　1月8日 東京国立競技場

静岡学園に期待！

今井田監督には静岡県が四年続けて準優勝という、重い何かがのしかかっていることだろう。それは県民の期待と、王者静岡県サッカー界を代表するものに与えられる当然の勝利の結果を期待されている重さである。

もちろん全国優勝はしてほしい、またそれだけの力はつきつつある静岡学園であり、井田氏もそれだけの力を持っている人物である。

しかし一方、宮本、八木、有ヶ谷の三人をぬいたメンバーは無名の、特に一年生が六人もいる未来のチームであることは、もっと大切にしなければならない。

それは一年生にとっては初の全国大会の経験であり、一方では「こわさ知らず」ともいえるが、やはり別なプレッシャーがかかっているだろう。これを取り除く努力こそ本当の優勝への道となるのではないだろうか。別ないいかたをすれば静岡学園は七十八年正月の優勝をねらえる最短距離のチームといえるのではないだろうか。一年生の杉山兄弟、成島、宮原の力はいま基礎戦術を充分身につけさせれば大きく大成するプレーヤーである。もちろん一年生でもチームにとけこまなければプレーヤーとして価値もないがチームの仕事を中心に考えすぎ大会にのぞむと、意外とその後ののびない事実を何人か見ているだけに非常に強く感じる。浜名の安間君や渋川君が身体的理由もあろうがその一つの例ではないだろうか。

全国大会に出場しても、なおかつ個を伸ばすサッカーを平常心の心がけにして県予選と同様大会にのぞんでほしいと思っている。健闘を祈る。

謹賀新年

52年元旦　清水サッカー協会

会長　稲名嘉男
副会長　長沢祐二
〃　中島　巌
〃　中沢通訓
〃　馬場　実
〃　杉山　繁
理事長　堀田哲爾
副理事長　清水博史
〃　安間　宏
〃　鈴木石根
〃　小花公生
〃　苫米地康文
〃　小林芳夫

ユースサッカー　二本木一夫

編集ノート

賀春　元旦は早朝から市内各所で行われる恒例の初げり。天皇杯サッカーの決勝。二日には高校選手権の開幕◆正月の名物行事、清水JC大会は一九七チームが参加して中旬に、二月は日本リーグの優勝チームと静岡選抜の招待試合に県少年大会三月は全国から選抜の高校招待清水大会である◆十二月も二十六日から三日間、全国選抜の少年大会が開催された清水のサッカーは多忙であった。指導に運営に熱意をかける関係者各位に敬意を表したい◆一千万円の宝くじを買いそこねたのは残念だったが、当たらなかったと思えば三千円もうけて嬉しいような気もしている、という電話があった。だが友人の声が嬉しそうではないように聞こえ、彼の知人にだけは当たるなという思いが走った。本年も宜しく（二本木）

第9回 清水JC大会 197チーム参加！

全試合の組合わせ決まる！

清水の正月はJCサッカー大会からはじまる。今年も一九七チームの参加、中でも六年生の四十チーム、中学が四十四チームと本当に大きな少年の大会となった。

特に中学二、三年に出場しているチームをみてみると五中野球部、四中野球部、三中野球部と県下の野球界でも名門チームがこの大会に参加しているのが目につく。野球のトレーニングの中で冬期サッカーで足腰をきたえようとする関係者の熱意に敬意を表したい。

抽選でもどちらかに勝利の味を味あわせようと互方を対戦させる気のつかいようで一回戦から楽しみな大会になりそう。

また女子の部には四中の三年五組古川学級が大会に参加しているのが注目される。また清水西高の陸上部も初参加。西高といえばこれまた県下陸上界ではうるさい存在。その中でJC大会に参加する余裕をもったトレーニング方法としてこれまた注目の的である。

また庵原中の女子中学生の参加もみものである。これら高校生、中学生を相手に入江、西河内の女子チームがどんな試合を展開するかがまた楽しみである。特に入江の女子チームは京都、東京の高校チームを相手に強化されており、決して技術の上ではひけをとらない。

以前、飯田ファイタ－ズが浜松高台中を6対0で破ったことがあるが、女子チームはエース二人いれば勝つことができるとまでいえるので、予想は全くむずかしい。

四十チーム参加している六年チームは、県大会出場の決まっている四チームと庵原郡より出場する由比、そして昨年優勝の有一と有二、少しずつ力をつけて来た庵原と岡あたりが注目される。Bチームながら強化されているのが辻と清水、有二のソフトボール、三保一のソフトボール、その他興津のソフトボールがどんな試合をやるか楽しみ。しかし結局ベスト4は清水ゴールデンキング、辻、有一、東海か庵原の勝者であろう。

五年以下はリーグ終了時点より大分変化してきており全くわからない。特に四年生以下は楽しいゲームの展開があってくれればよいのではないか。

正月二十三日まで毎日が楽しみな大会である。

第七回東海四県少年大会

全清水が優勝！ 決勝戦で藤枝を破る

十二月四日㈯五日㈰刈谷市で行われた第七回東海四県小学生サッカー大会は、一回戦三重県上野に苦戦2対0二回戦岐阜選抜に8対1で決勝に進んだ全清水と、四日市に10対0名古屋に4対0でこれまた決勝に進んだ藤枝との六回目の対戦となった。

今年に入ってから全国大会予選、つま恋、神戸、さわやか杯、東海予選と五回の大会を全て大差で全清水が勝ったが、今回は全く不調で互角の試合であった。

先行するのは清水、しかしその後すぐ追いつかれるというゲーム展開であった。延長の後半9分、鍋田、青島とわたったボールを久保田が見事に決め、どうやら面目を保ったが個々のプレーヤーがバラバラで良い所がなかった。特にバックのプレーが悪く、守備と攻撃のバランスが悪かった。個々のドリブルの力が差があったので優勝はしたものの東海の七回の大会のうち決勝戦としては一番つまらない内容だった。

東海大会七回の大会も六回にわたって藤枝と清水の対決で、清水四回、藤枝二回、四日市一回と、両チームが東海のリードをしていたが、少しずつではあるが岐阜、名古屋の力がのびてきており、東海の少年育成の組織が正しいことを示してくれた。

今年は刈谷サッカー協会が全面的に協力し名古屋の水野氏を中心に毎日新聞社の後援で大会の運営そのものはすばらしかったが、何といっても大会は選手のゲームによって大きく評価されるものである。

なお来年はこの試合をNHKで放映されることになっており、場所も刈谷と決定した。

〈東海小学生サッカー大会〉

▽準決勝

全清水 8（4－1、4－0）1 岐阜南部選抜

全藤枝 4（4－0、0－1）1 名古屋スポーツ

▽決勝

全清水 3（1－1、1－1、延長、0－0、1－0）2 全藤枝

PEPSI

清水育成会だより

JCとの対戦も育成会選抜チーム

このところ前座試合に引っぱり出されている育成会選抜OBチームは第九回JC大会アトラクションプレーに今まで全清水が相手になっていたJC会員との対戦に出場することになった。

いままで全清水との対戦では一方的にいためつけられていたJCメンバーが同質？のプレーヤーの出場を依頼しての出場で、選抜チームもはりきっている。

来年こそは……！

今育成会リーグに出場していない駒越と庵原の地区に、来年は出場チームができそう。特に庵原地区の育成会の歴史は古く清水で最もさかんだったくらいで、関係者も忘れられちゃ困るということでチーム編成にふみ切った。

もともと浜松との対戦や、スポーツ祭予選でも名プレーヤーの多いこの地区、二十年前に現在清商の苫米地先生の教え子が親になる頃となり意気さかんである。ただみかんの産地だけに時期的にむずかしくて……と。

すねあて

育成会の試合では前の方でなく後にすねあてをしなくては、というのは小花氏。何でも前にあるのをけってしまう育成会員諸君よく聞いてやってください

初げりは元日が80％

各少年団から高校まで恒例の初げりの計画が決まった。

元旦の七時より行われるのは辻、江尻、浜田、清水、不二見、三保一、三保二、飯田、高部、有二、袖師、興津、小島、小河内、西河内、庵原、五中、庵原中、袖中。

二日に行われる所は清商、清工、入江、有一、八中。

三日に行われるのは清水東高、三中、七中駒越、東海。

四日に行うのは岡一中の二つである。

どこのチームも全員のけり初めとゲーム、そのあとおしるこ等で乾杯と計画されている。

ウォーミングアップを充分とり、元気に七十七年を迎えてください。

静岡招待サッカー

2月20日に開催

日本リーグ優勝チーム対静岡選抜チームの対戦は今年二月二十日草薙と決まった。

ワールドカップアジア予選の関係で全日本代表チームの参加はやや、あぶないが、本来の静岡県出身者による豪華なるプレーがまた見られることになり楽しみである。

日本リーグも日立、三菱、古河の三チームにや、しぼられた感があるがまだ予想もつかなく、招待ゲームの決定に関係者もやきもきしている。

杉山隆一氏も今年監督を受けるにあたり、対戦相手によって選抜も考えたいところだがむずかしいところ一応、地元に在住している選手を中心に考えあとはトッププレーヤーの高田、碓井、中村伊藤、松永程度になるなお当日、OB戦と中学選抜大会の決勝戦が同時に行われる。

少年サッカーとチームプレー

まごころをこめて

物事に一生県命とりくんでいる姿は、どんなものでもそれを見ている者にとって美しく感じ、感動を与えるものである。

私の学校に今年卒業生の父母が卒業記念品として国旗や市旗校旗を掲げる掲揚塔を寄附してくれた。

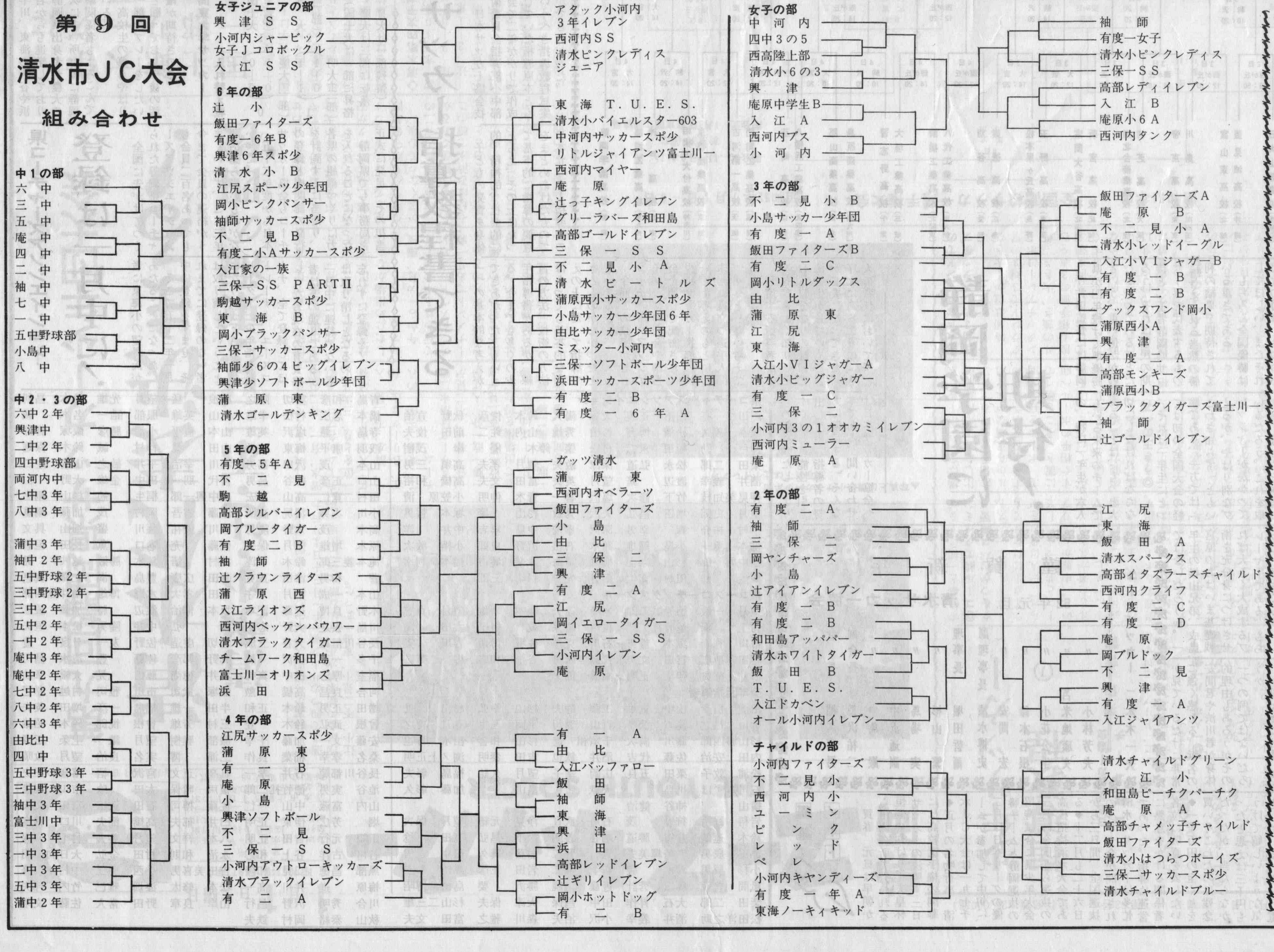
六年生の生徒が毎朝七時半と夕方四時に校歌の演奏曲に合わせ掲揚と降納を行っている。その時の子どもの姿は真剣そのものであり、恐らく生まれて初めての緊張の時であろう。全校の生徒の前でわずか三十秒の間であるがポールの上まで上手に揚げたいと願い必死の姿である。私はこの子どもにとって三十秒は最も進歩する時間であると思う。物事に集中し必死になっている時だからである。四本のポールの旗は八人の子どもによってあげられるが、四本ともそろって揚げたいと願っているのはもちろんである。この時子どもたちはやらされているのではなく、自分たちでやらなければならない立場にたたされ、主体的に取り組まざるをえない場である。

しかも毎日子どもは当番で変わっているのである。私はすばらしい教育の場であり子どもを育てる場であると思う。

子どもにこの三十秒の間の気持を聞いてみると、みんなでそろえなくてはと曲に合わせようという願いで、あとの七人がどんなかなと三つのことを考えているそうである。

自分だけよければよいとか、意欲のない人間にはとうていできない仕事なのに、この瞬間は全員が感動の場面をつくってくれるのはいったい何なのだろうか。そしてこの仕事をしたあと校旗や国旗に対する考えが非常に高まり、物事にまごころがこもるようになっているからふしぎな教材である。

私達指導者は子どもの能力や技術がのびるための教材をもちろんサッカー指導の中でもさがさねばならないが単に経験させるだけでなく、自主的に経験でき、子どもがまごころをこめて考えていける練習法が簡単な作業の中にもあることを知り単純な練習の中に何を持ってまごころを植えつけるか、まごころをこめて取り組ませるかを特に考えたい。（哲）



第9回 清水市JC大会 組み合わせ

中1の部
- 六　中
- 三　中
- 五　中
- 庵　中
- 四　中
- 二　中
- 袖　中
- 七　中
- 一　中
- 五中野球部
- 小島中
- 八　中

中2・3の部
- 六中2年
- 興津中
- 二中2年
- 四中野球部
- 両河内中
- 七中3年
- 八中3年
- 蒲中3年
- 袖中2年
- 五中野球2年
- 三中野球2年
- 三中2年
- 五中2年
- 一中2年
- 庵中3年
- 庵中2年
- 七中2年
- 八中2年
- 六中3年
- 由比中
- 四　中
- 五中野球3年
- 三中野球3年
- 袖中3年
- 富士川中
- 三中3年
- 一中3年
- 二中3年
- 五中3年
- 蒲中2年

女子ジュニアの部
- 興　津　S　S
- 小河内シャービック
- 女子Jコロボックル
- 入　江　S　S
- アタック小河内3年イレブン
- 西河内SS
- 清水ピンクレディスジュニア

6年の部
- 辻　　小
- 飯田ファイターズ
- 有度一6年B
- 興津6年スポ少
- 清　水　小　B
- 江尻スポーツ少年団
- 岡小ピンクパンサー
- 袖師サッカースポ少
- 不　二　見　B
- 有度二小Aサッカースポ少
- 入江家の一族
- 三保一SS　PARTⅡ
- 駒越サッカースポ少
- 東　　海　　B
- 岡小ブラックパンサー
- 三保二サッカースポ少
- 袖師少6の4ビッグイレブン
- 興津少ソフトボール少年団
- 蒲　原　東
- 清水ゴールデンキング
- 東　海　T．U．E．S．
- 清水小バイエルスター603
- 中河内サッカースポ少
- リトルジャイアンツ富士川一
- 西河内マイヤー
- 庵　　原
- 辻っ子キングイレブン
- グリーラバーズ和田島
- 高部ゴールドイレブン
- 三　保　一　S　S
- 不　二　見　小　A
- 清　水　ビ　ー　ト　ル　ズ
- 蒲原西小サッカースポ少
- 小島サッカー少年団6年
- 由比サッカー少年団
- ミスッター小河内
- 三保一ソフトボール少年団
- 浜田サッカースポーツ少年団
- 有　度　二　B
- 有　度　一　6　年　A

5年の部
- 有度一5年A
- 不　二　見
- 駒　　越
- 高部シルバーイレブン
- 岡ブルータイガー
- 有　度　二　B
- 袖　　師
- 辻クラウンライターズ
- 蒲　原　西
- 入江ライオンズ
- 西河内ベッケンバウワー
- 清水ブラックタイガー
- チームワーク和田島
- 富士川一オリオンズ
- 浜　　田
- ガッツ清水
- 蒲　原　東
- 西河内オベラーツ
- 飯田ファイターズ
- 小　　島
- 由　　比
- 三　保　二
- 興　　津
- 有　度　二　A
- 江　　尻
- 岡イエロータイガー
- 三　保　一　S　S
- 小河内イレブン
- 庵　　原

4年の部
- 江尻サッカースポ少
- 蒲　原　東
- 有　一　B
- 庵　　原
- 小　　島
- 興津ソフトボール
- 不　二　見
- 三　保　一　S　S
- 小河内アウトローキッカーズ
- 清水ブラックイレブン
- 有　二　A
- 有　一　A
- 由　　比
- 入江バッファロー
- 飯　　田
- 袖　　師
- 東　　海
- 興　　津
- 浜　　田
- 高部レッドイレブン
- 辻ギリイレブン
- 岡小ホットドッグ
- 有　二　B

女子の部
- 中　河　内
- 四中3の5
- 西高陸上部
- 清水小6の3
- 興　　津
- 庵原中学生B
- 入　江　A
- 西河内ブス
- 小　河　内
- 袖　　師
- 有度一女子
- 清水小ピンクレディス
- 三保一SS
- 高部レディイレブン
- 入　江　B
- 庵原小6A
- 西河内タンク

3年の部
- 不　二　見　小　B
- 小島サッカー少年団
- 有　度　一　A
- 飯田ファイターズB
- 有　度　二　C
- 岡小リトルダックス
- 由　　比
- 蒲　原　東
- 江　　尻
- 東　　海
- 入江小VIジャガーA
- 清水小ビッグジャガー
- 有　度　一　C
- 三　保　二
- 小河内3の1オオカミイレブン
- 西河内ミューラー
- 庵　原　A
- 飯田ファイターズA
- 庵　原　B
- 不　二　見　小　A
- 清水小レッドイーグル
- 入江小VIジャガーB
- 有　度　一　B
- 有　度　二　B
- ダックスフンド岡小
- 蒲原西小A
- 興　　津
- 有　度　二　A
- 高部モンキーズ
- 蒲原西小B
- ブラックタイガーズ富士川一
- 袖　　師
- 辻ゴールドイレブン

2年の部
- 有　度　二　A
- 袖　　師
- 三　保　二
- 岡ヤンチャーズ
- 小　　島
- 辻アイアンイレブン
- 有　度　一　B
- 有　度　二　B
- 和田島アッパパー
- 清水ホワイトタイガー
- 飯　田　B
- T．U．E．S．
- 入江ドカベン
- オール小河内イレブン
- 江　　尻
- 東　　海
- 飯　田　A
- 清水スパークス
- 高部イタズラースチャイルド
- 西河内クライフ
- 有　度　二　C
- 有　度　二　D
- 庵　　原
- 岡ブルドック
- 不　二　見
- 興　　津
- 有　度　一　A
- 入江ジャイアンツ

チャイルドの部
- 小河内ファイターズ
- 不　二　見　小
- 西　河　内　小
- ユ　ー　ミ　ン
- ピ　ン　ク
- レ　ッ　ド
- ペ　レ
- 小河内キャンディーズ
- 有　度　一　年　A
- 東海ノーキィキッド
- 清水チャイルドグリーン
- 入　江　小
- 和田島ピーチクパーチク
- 庵　原　A
- 高部チャメッ子チャイルド
- 飯田ファイターズ
- 清水小はつらつボーイズ
- 三保二サッカースポ少
- 清水チャイルドブルー